

令和元年 第3回 上野原市都市計画審議会の記録

1. 都市計画審議会の概要

日時：令和2年3月3日（火）午後1時55分～3時00分

会場：上野原市役所 2階 庁議室

□次 第

1. はじめのことば
2. 会長あいさつ
3. 建設課長あいさつ
4. 議 事
 - 1) 意見聴取
上野原市立地適正化計画について
5. その他
6. おわりのことば

□配布資料

1. 次第
2. 都市計画審議会諮問書
3. 住民説明会での意見と対応
4. パブリックコメント意見等とりまとめ
5. 立地適正化計画素案
6. 4ページ差し替え資料
7. 立地適正化計画概要版

□出席者（○は出席）

○識見を有する者（1号）

・ "

○ "

○ "

○ "

○ "

○ "

・ "

○市議会議員（2号）

○ "

○ "

○山梨県職員（3号）

○ "

・市民代表（3号）

○ "

◆事務局

○建設課

○建設課

○建設課

○建設課

課長

都市計画担当リーダー

都市計画担当

都市計画担当

飯島 勤

大山 勲

武藤 慎一

金子 郁

中田 無双

清水 範男

佐藤 満

堂本 隆司

川島 秀夫

小俣 修

東山 洋昭

平山 照仁

塩入 栄

鈴木 誠一

中込 一男

関戸 一光

中村 慎

井上 将寿

加藤 直樹

* 敬称略、順不同

2. 発言要旨

(事務局)

- ・定刻より早いですが、全員が揃ったので会議をはじめたいと思う。
- ・本日はお忙しい中、ご出席を頂き、お礼申し上げます。
- ・ただ今より、令和元年度第3回上野原市都市計画審議会をはじめさせて頂く。
- ・それでは、お手元の次第に従い、進行させて頂くので、よろしくお願ひしたい。

1. はじめのことば

(事務局)

- ・はじめのことばを会長職務代理にお願いをする予定であったが、急遽出席できなくなってしまったので、省略させて頂く。

2. 会長あいさつ

(会長)

- ・大変忙しい中を、また、色々な状況がある中をお集まりいただき、お礼申し上げます。
- ・本日もよろしくお願ひしたい。

3. 建設課長あいさつ

(建設課長)

- ・本日は公私ともにお忙しい中を、またコロナウイルス等で大変騒がしい中をお集まり頂き、お礼申し上げます。
- ・令和元年度の3回目の上野原市都市計画審議会にご出席いただき、改めてお礼申し上げます。
- ・皆様方には、日頃より上野原市発展のため市政運営にご理解とご協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。
- ・本日は、この後事務局より立地適正化計画案の意見聴取について説明があるが、本審議会をもってこの立地適正化計画は最終的に策定となる。
- ・意見聴取においては、計画進行に留意する事項があればその旨を記載し、留意する事項がなければ適当と認めた旨を答申させて頂くこととなる。
- ・また、2月5日、6日には住民説明会を開催し、1月31日から2月24日までの間にパブリックコメントを実施させて頂いたところである。
- ・多様な意見をとりまとめた上、立地適正化計画策定懇話会で再検討させて頂いたところである。
- ・今回の審議会をもって、都市再生特別措置法第81条第18項の規定に基づき上野原市立地適正化計画を公表し、山梨県に計画書の写しを提出し、策定作業は終了となる。
- ・これからは計画の段階プログラムなどに沿って、計画を推進することとなるが、随時、審議会の皆様には進捗状況等を説明させて頂くので、引き続きお願ひを申し上げます次第である。
- ・最後になるが、立地適正化計画の進行管理においても、これからの都市計画行政の発展のためにも、ご協力を賜りますよう重ねてお願ひを申し上げ、簡単であるが、挨拶にかえさせて頂く。
- ・本日はよろしくお願ひしたい。

(事務局)

- ・議事に入る前に、2点ほどお伝えさせて頂く。

- ・本日に会議に、立地適正化計画策定業務を受託している株式会社ブレンズも同席させて頂いているので、ご了承願いたい。
- ・2点目は、本日使用する資料の確認になる。

●配布資料の確認を行った。(事務局)

- 1 次第
- 2 立地適正化計画について(諮問)
市長から都市計画審議会長への諮問書
- 3 立地適正化計画(素案)ー計画書
- 4 立地適正化計画(案)住民説明会での意見等及び市の対応について
- 5 立地適正化計画(案)パブリックコメント意見募集の結果及び回答案
- 6 立地適正化計画概要版(案)
- 7 素案4ページ差し替え資料

3. 議 事

(事務局)

- ・これより議事に入りたいと思う。
- ・上野原市都市計画審議会条例第5条により、議長を会長に願います。

1) 意見聴取(諮問)

上野原市立地適正化計画について

(会長)

- ・それでは議事に入らせて頂く。
- ・「意見聴取(諮問) 上野原市適正化計画について」である。
- ・それでは、事務局から説明をお願いしたい。

●計画素案の修正箇所、住民説明会での意見と当日の回答内容、パブリックコメントの意見と回答案について説明を行った。(事務局)

(会長)

- ・それでは、協議に入らせて頂く。
- ・本日は、この立地適正化計画の最終確認である。
- ・これで答申してよろしいかということと、先日行われた住民説明会には19名が参加されたということであるが、その方々から寄せられた意見、また、パブリックコメントで2名から寄せられた意見に対して、このような対応の仕方によろしいか、あるいは立地適正化計画を修正する必要があるかどうかという確認である。
- ・それらの内容について協議をして頂ければと思う。
- ・意見ひとつひとつについては議論していかないが、全体を通してご意見を頂ければと思う。

(委員1)

- ・前回の会議で気が付けばよかったが、脱字がある。
- ・8ページに「40~60/ha」とあるが、「人」が抜けている。
- ・もう一点、58ページで「上野原市バリアフリー基本構想」に示されている図を掲載しているが、地図が古く、実際の住宅配置はまったく違う。
- ・既往の計画を出典としている図なので修正は難しいと思うが、一応承知をしておいてもらった方がいいと思った。

(委員 2)

- ・住民説明会の参加者の男女比や、細かくはわからないと思うが年齢は概ねどのような感じだったか、若い人が参加していたのか、参考までに教えて頂きたい。

(事務局)

- ・年齢は確認できていないが、20代はいなかった。参加者は30代から上である。
- ・女性は延べ2名であった。
- ・30代の方も、40代の方もいたし、50代の方もいた。参加者の年齢は多岐に渡っていた。

(事務局)

- ・一番多かったのは、50代から60代である。

(委員 3)

- ・住民説明会の①の意見では防災面の話をしているが、立地適正化計画の中では防災対策の強化とか災害に強い居住環境づくりの推進という形で謳われているので、問題ないと思う。
- ・「例えば」以下のご意見については、避難所の話とか、避難経路の話とか、狭隘道路の問題についても、地域防災計画の中に記載されているのか確認したい。
- ・地域防災計画に記載されているのであれば、立地適正化計画の中にそこまで書く必要はないと思う。
- ・「地域防災計画の中に謳われている」という対応でもいいのではないかと思う。
- ・都市計画道路についてかなり意見が出ている。
- ・立地適正化計画の中に、都市計画道路の見直しをすることが書かれているので、問題ないと思うが、別途、都市計画道路の見直しに関しての計画というものは、今のところは無いのか。

(事務局)

- ・一点目の地域防災計画については、委員3から話があったように、地域防災計画で避難所等の指定がされている。
- ・もう一点の都市計画道路の件については、今後具体的に進めていかなければならないということで、これまでに見直し案などを色々作成をしているが、その案について協議や検討をするにしても、まずは調査等を行う必要がある。
- ・交通量調査や歩行者の調査、住居調査、また、居住環境の調査などを行わなければならない。
- ・都市計画道路の見直しは、安易に簡単にできるものではないと聞いている。
- ・今回、取り組みの段階プログラムに都市計画道路の見直しを位置付け、概ね7年以内の中で、業務の委託を行い、調査等を行っていければと考えている。
- ・具体的に何年後にどの路線を見直すといった計画というご意見か。

(委員 3)

- ・そういう計画がしっかりと進行しているということが住民に伝わればいいと思う。

(事務局)

- ・これから都市計画道路の見直しを進めるということになる。
- ・いままでやっていなかったものを、ようやく進めていくという話である。

(委員 3)

- ・立地適正化計画にそのことは謳われているが、「結局書いてあるだけで進まないのではないか」と思われて、住民説明会でこういった質問をしているのではないかという気がする。
- ・この計画の中で細かくは言えないのは、当然だと思う。
- ・きっちりと都市計画道路の見直しの計画が別途あって、その中でいま話があったような計画を進めているという説明ができるといいと思う。

(事務局)

- ・都市計画道路の見直しをした後の整備についての計画ということか。

(委員 3)

- ・そこまでを含めての話である。
- ・「それを約束できるかわからない」ということは、言われる通りだと思う。

(事務局)

- ・現行の都市計画道路網は、昭和 28 年につくられた計画であり、その後、昭和 61 年に一路線増やして、10 路線となったものである。
- ・昭和 61 年からほとんど進展しておらず、122m だけが整備された状況である。
- ・これまで何もやってこなかったものを、ここでどうにか見直しをしていきたい。
- ・例えば路線の廃止、幅員の見直しといったことを検証していければと思っている。
- ・現実的に、できる部分から少しずつやっていく話にはなってしまうと思うが、見直しをする段階で、そういったことも一緒に考えていければと思っている。

(委員 3)

- ・それが伝わるようにして頂ければと思う。

(事務局)

- ・回答に表現できていないということだと思う。

(会長)

- ・今からでは厳しいかもしれないが、今のご意見を回答に加えることができようであれば、例えば「なお、避難場所については、別途地域防災計画等で指定しています」と書き加えてはどうか。

(事務局)

- ・資料に記載しているのは、住民説明会当日に回答した内容である。
- ・この内容をホームページ等で公開する際には、住民説明会以降に考えた内容についても、加えられるものは加えていければと思う。

(会長)

- ・私も少し錯覚しており、申し訳なかった。
- ・委員 3 の意見を参考にして、考えて頂ければと思う。
- ・ただ地域防災計画では、公園を整備するとは謳っていないので、そこまでの具体的なことは書けないと思う。
- ・都市計画道路の見直しについても同様に、⑤の方の意見に対して当日回答した内容が書かれている。

- ・「そのため、都市計画道路の廃止、見直し、本当に必要な路線は強化していくという、計画の見直しをしていかなければならないと思っている。」と書かれている。
- ・これで良ければこれでいいが、もう少しわかりやすい補足を付け加えて頂けるとありがたい。

(事務局)

- ・いま頂いたご意見などをもとに内容を加えるようにしたい。

(委員 2)

- ・⑧の公共施設に関する意見について、市の回答は「我々としても課題になっている部分である」となっている。
- ・病院、図書館、プールは、それぞれ行く目的が違う。むしろ病院と図書館は離れていないとうまくないと思う。
- ・病院に来たついでに図書館に行かれてしまうと、感染症の問題がある。
- ・図書館やプールには子ども達がたくさんいる。
- ・私は武蔵野に長年住んでいたの、武蔵野を中心にした東京の事しか知らないが、どこでもこういった施設は離している。それで充実させている。
- ・市としてこういう認識を持っているということは、少し違うのではないかと思う。
- ・特に病院と子ども達が集まる場所を一緒にするのは、病気を蔓延させるもとである。
- ・「病院の休憩室は、菌が一番ウヨウヨしている」とよく言われる。

(会長)

- ・そういう意味でも、このような対応で良かったということによろしいか。

(委員 2)

- ・事務局にお任せするが、私は一緒にしない方がいいと思っている。

(事務局)

- ・こういった会議の中で意見があったということで、回答に付け加えられればと感じる。
- ・「そういったことも考えられる」といった形で、一言文章を加えることも可能である。
- ・パブリックコメントで出された意見をと同一で、「市役所に図書館と郵便局があれば便利だ」と言われている方もいる。
- ・確かに病院と図書館や病院と子育ての施設が一体化すれば、よろしくないと思う。
- ・そういった内容として、その場ではこのような回答をしてしまった。

(会長)

- ・一体化はほとんど不可能なことであるので、それはともかくとして、現在もまとまった地域にある程度の公共施設ある状態だと思う。
- ・理解して頂けるのではないかと思う。
- ・特にプールは別でいいと思う。病院に行った帰りにプールに行く人はいない。
- ・現状は適切なのではないかと思う。
- ・計画も適切だと考えていいのではないかと思う。
- ・住民の皆さんから頂いた意見は、件数が少なく、情けない状態である。
- ・それでも、私の感覚から言うと、住民説明会にあれだけの人数がよく来たと思う

ている。

- ・住民説明会には、延べ19人が参加した。
- ・失礼であるが、もっと少ないと思っていた。
- ・パブリックコメントも色々な計画で実施しているが、意見があるか無いかといった状況が普通であるので、まあ良かったのではないかと考えている。
- ・私も住民説明会を聞きに行った。
- ・夜、お忙しい中を一生懸命に来て、意見を出して頂いた。
- ・これはこれで、大変いいことだと思う。
- ・ただ、数がまだまだ少ないということと、聞きに来た方が内容をもう少しよく考えて頂ければ、計画をスムーズに活かして頂けたかと思う。
- ・まだまだ素朴な意見であるので、「これはおかしい」というものもある。
- ・それ以上に、住民説明会に出て来て意見を言って頂いたということが立派だと思う。
- ・例えば、駅前にアパートや公営住宅を造れと言われても、なかなかそうはいかない。
- ・それで人口減少が食い止められるかということと、別問題になってくる。そんなに簡単なものではない。
- ・それぞれの意見を見ていくと、駅前をもっと開発した方がいいという意見と、危ないからやめた方がいいという意見がある。
- ・ひとつひとつの意見は丁寧に受け止めていくが、それをストレートに受け入れて計画書を修正していくといったところまではいかない気がする。

(委員4)

- ・住民説明会意見の③の人口減少を食い止めるという話の中で、市の回答は「人口密度を低下させないこと」となっている。
- ・要は、移住・定住を頑張っていくという回答だと思う。
- ・今後の都市計画に活かしていく市民の意見として、ネイティブな上野原の市民の意見と、コモアなどに移住されてきたよその方々からみた上野原についての意見の両方を拾い上げる仕組みがあるといいと思う。
- ・なぜコモアを選んで移住してきているのか、その人たちが良さを一番わかっているのではないかとと思う。
- ・よそから移り住んだ方の意見をうまく拾って活かしていければ、その人たちと同じ価値観を持った人たちが、上野原を選んでくれるようになるのではないかと。
- ・難しいと思うが、地元で生まれ育った方たちの上野原に対する思いと、よそから移り住んだ方たちが上野原を選んだ考えの両方の意見をうまくミックスして計画にうまく活かしてもらえると、おもしろい形になっていくのではないかとと思う。

(会長)

- ・事務局で検討して頂ければと思う。
- ・いまの意見は、この立地適正化計画だけではなく、まちづくり全般の計画等でしっかりとやっていかなければならない。

(事務局)

- ・参考にさせて頂きたいと思う。

(委員4)

- ・よそから来た方は、言いづらいと思う。

- ・どうしても遠慮ぎみになってしまうのではないかと思う。
- ・それを拾い上げる仕組みがあるといいと思う。

(事務局)

- ・アンケート調査などの方法で、意見を拾い上げることが可能だと思う。
- ・立地適正化計画の見直しの段階で、そういったものが取り入れられればと思う。

(委員 5)

- ・委員 4 が言われたことは、もっともだと思う。
- ・何のためにこの計画をたてるのか書かれているので、読み上げさせて頂きたい。
- ・「立地適正化計画とは、急激な人口減少や高齢化の進展を踏まえ、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指し、居住地や都市機能の適正な立地、公共交通の充実等に関する包括的な計画です。」と書かれている。
- ・移住・定住で入ってくる方たちはもちろんのこと、都市計画区域内に住んでいる方たちが、上野原の都市計画区域内に病院を含め色々な公共施設等をつくっていく中に入り込んで頂ければ、メリットが多くあるという話である。
- ・以前会長からも話があったが、都市計画区域外の人たちを捨てる訳ではない。
- ・都市計画区域外の人たちのことも考えつつ、しかしながら、上野原市の人口減少はもう歯止めがきかないことは間違いないので、国が「立地適正化計画をつくりなさい」と言っている。
- ・立地適正化計画の策定に関しては、上野原市は山梨県の中でも相当早い市である。
- ・立地的適正化計画ということだけにとらわれると、担当の部署としては他の政策秘書課などの部署が所管する内容にまで渡ってしまっていて、答えにくいのではないかと感じている。
- ・しかしながら、人がどんどん入ってくれて、色々な意見を聞くということは、非常に大事である。
- ・今後も、都市計画担当でも取り組んでもらい、計画の中に取り入れていってもらえるようお願いできればと思う。
- ・あくまでも立地適正化計画は、人口減少にあったまちづくりということで、市の財政が持たなくなってきたということ、計画をつくらなければならない根拠だと思っている。

(会長)

- ・委員 4 には、「具体的にこういう方法でやったらいい」と意見があれば、事務局に話をしてもらえればと思う。
- ・まちづくりの会議でも、積極的に若い方が意見を言って頂かないとだめだと思う。
- ・貴重なご意見を頂いたので、住民説明会とパブリックコメントの結果については、改めて事務局で整理してもらい、ホームページ等へ掲載して頂ければと思う。
- ・事務局には苦劳いただくがよろしくお願ひしたい。
- ・最後となるが、今回の意見聴取についてはどうか。
- ・立地適正化計画の諮問についてである。
- ・この計画は、本年度 3 回目の説明がなされ、今回が最終の確認となる。
- ・意見がなければ、提出された内容でよろしいか。
- ・よろしければ、いちぶん追加で、計画書にもあるように居住誘導及び都市機能誘導に向けた主要施策の推進について、段階的・効果的な進行管理を構築し、計画の具現化に取り組むよう要望し、答申としてよろしいか。

(委員)

- ・異議なしの声多し

(議長)

- ・それでは、立地適正化計画の意見聴取の諮問について、市長宛て答申させていただく。
- ・今後は、進行管理の中で、都市計画審議会としても関わっていくこととなるので、よろしくお願いいたします。
- ・以上で議事を終了したいと思う。

5. その他

(事務局)

- ・事務局より、その他について説明させて頂く。

(事務局)

- ・先ほど意見があった住民説明会とパブリックコメントの内容については、精査して修正を加えた中で、ホームページに掲載、公表させて頂ければと思う。
- ・本日、皆様に概要版を配らせて頂いている。
- ・概要版については、計画が公表されたら、広報に織り込んで市内全戸に配布させて頂ければと思っている。
- ・概要版については、電話でも結構なので意見を頂ければ、必要に応じて修正を加えさせて頂くので、よろしくお願いいたします。
- ・議決いただいたので、本日の会議を持って答申を頂く形としたい。
- ・立地適正化計画については、今後の進捗についても皆様に見て頂いた中で検証等を行って頂ければと思っているので、よろしくお願いいたします。

6. おわりのことば

(事務局)

- ・本日はお忙しい中をご出席頂き、お礼申し上げます。
- ・以上で、散会とさせて頂く。
- ・ご協力、お礼申し上げます。

(以上)